

(様式 1 - 5)

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 院内掲示 井上病院のホームページで公開する

研究課題名	透析シャントに対する DCB 使用後の後方視的研究 (承認番号 302)		
研究の意義・目的	透析シャントの再狭窄に対し Drug coated balloon (DCB) は plain old balloon angioplasty (POBA) と比べて開存期間の延長効果が示されている。しかし、その効果に影響を及ぼす因子について一定の見解はない。そこで、当院における DCB 使用症例を後方視的に解析し、開存期間延長に影響を与える因子について検討を行い、どのような患者様に効果的であるか、またどのような効果が期待できるかを研究する。		
研究期間	2014 年 1 月 4 日～2027 年 12 月 31 日		
研究対象者の範囲	2014 年 1 月 4 日から 2027 年に井上病院で、透析シャント狭窄の治療のため受診された通院患者さまが対象です。		
利用又は提供する試料・情報の項目	検査データ、手術記録、既往歴、内服歴 等		
研究成果を公表する方法	学会発表および論文など		
試料・情報の提供方法	なし		
研究組織	● 試料・情報を利用する者の範囲としての研究機関名とその代表者氏名 ● 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称		
	【研究代表施設】施設名：		
	研究代表者	所属：泌尿器科	職名：医師 氏名：三木優子
	【共同研究施設 1】施設名：該当なし		
	研究責任者	所属：	職名： 氏名：
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。		
拒否を受け付ける方法 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 16-17 井上病院 Tel (06) 6385-8651		